

令和8年度日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士養成講習会  
開催要項

1. 目的

日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）と日本栄養士会は、公認スポーツ指導者制度に基づき、地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の知識を持つ専門家として、競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高めるための栄養教育や、食事環境の整備に関する支援等、栄養サポートを行う者として、公認スポーツ栄養士を養成する。

2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会  
公益社団法人日本栄養士会

3. 主管：特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会

4. カリキュラム

(1) 共通科目

150時間[事前学習・集合講習(対面またはWEB)・事後学習]

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

(2) 専門科目[集合講習及び自宅学習]

専門科目は、116.5時間以上（集合講習、インターンシップ含む）である。

専門科目の「スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」は、日本スポーツ栄養学会が開催する「スポーツ栄養ベーシックコース講習会」（受講料別途）の受講により単位取得をする。

科目名	内 容	時間数
スポーツ栄養士に必要な基礎知識	スポーツ栄養ベーシック講習会を受講(日本スポーツ栄養学会開催)	16.5
スポーツ栄養士の役割	他分野から見た公認スポーツ栄養士の役割 スポーツ現場での公認スポーツ栄養士の役割	2
スポーツ栄養マネジメント	スポーツ栄養マネジメントの理論 栄養教育・行動科学 身体計測 理論 生理・生化学検査、臨床診査 理論 食事調査 理論 食事調査 演習 消費エネルギー量の算定 理論 消費エネルギー量の算定 演習	12.5
栄養補給	エネルギー補給(糖質、脂質) からだづくりとたんぱく質摂取 ビタミンとミネラル サプリメントとエルゴジェニックエイド 水分補給	9
スポーツ現場における食環境整備	スポーツ現場における給食管理 種目別・目的別・多様性を考慮した給食管理の立案	3
目的・対象者別栄養管理	エネルギー不足の理論(FAT含む) エネルギー不足のケーススタディ(演習) ウエイトコントロールの理論 ウエイトコントロールケーススタディ(演習) 貧血の栄養管理の理論 貧血の栄養管理のケーススタディ(演習) 試合前・中・後の栄養管理 遠征・合宿帯同に必要な基礎知識 ジュニアスポーツ選手の栄養管理(指導法)	23
スポーツ医学	アンチドーピング 内科的疾患(感染症、貧血、暑熱、アレルギーなど) 外科的疾患(リハビリ時) 障がい者スポーツ ジェンダーを考慮したスポーツ障害	7.5
エビデンス・ベースド・ニュートリション	エビデンスの活用と公表の手順 プレゼンテーションスキル	3
インターンシップと成果発表	媒体作成 プレゼンテーション 栄養指導の実際 成果のまとめおよび発表	40

## 5. 実施方法（開催期日・会場）

### (1) 共通科目

\*共通科目講習会を受講するためにはPC（タブレット端末含む）、インターネット回線、Microsoft ソフトウェア(Word、Excel、PowerPoint 等)の使用、Google アカウントの作成が必須となる。なお、当該内容は受講者の自己手配とし、その費用は受講者の自己負担とする。

事前学習	知識確認テストの合格ならびに個人学習の提出 *事前学習の受講が集合講習の参加条件となる。
集合講習 (対面またはWEB)	JSP0 が各競技合同で実施する集合講習の受講 *講習は3日間。受講会場は全10会場（令和8年8月～11月、対面9会場/WEB 1会場）から希望聴取後に調整して決定する。 *対面講習の参加に係る交通（駐車場手配含む）、宿泊は自己手配、自己負担とする。 *WEB講習の参加に係り必要となる通信機器・経費等（PC・マイク・カメラ並びにデータ通信量を含むインターネット回線等）は受講者の自己手配・自己負担とする。
事後学習	集合講習での学びを踏まえた現場実践 現場実践の内容のまとめと振り返り等のレポートの提出

### (2) 専門科目

専門科目は、日本栄養士会が主催する11月に3日間、翌年の6月に3日間、10月に2日間予定する集合講習会とインターンシップ（現場学習）から構成する。

- ① 集合講習会は、原則として共通科目の全講義を受講しなければ受講できない。
- ② インターンシップ（現場学習）は、スポーツの現場においてスポーツ栄養マネジメントに従って栄養管理を習得することを指す。インターンシップ先は、各自で確保すること。特に今回の募集では、新型コロナウイルス感染の状況にあっても栄養サポートを実施することができるインターンシップ先を確保すること。

## 6. 受講者

公認スポーツ指導者育成の受講者受入方針（アドミッション・ポリシー）に定める内容の他、以下受講条件に合致する者を本講習会の受講者として受け入れる。

### (1) 受講条件

- ・受講する年の4月1日現在、満22歳以上の管理栄養士で、スポーツ栄養指導の経験がある者または予定のある者のうち、JSP0 及び日本栄養士会が認めた者。
- ・受講有効期間内で講習の全日程に参加が可能である者。
- ・専門科目「スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」の単位取得をしていなければ、受講することはできない。「スポーツ栄養士に必要な基礎的知識」については4. カリキュラム(2) 専門科目を参照すること。
- ・受講内定後インターネットサービス「MyJSP0（指導者マイページ）([https://account.japan-sports.or.jp/sign\\_in](https://account.japan-sports.or.jp/sign_in))」から申込が出来る者。
- ・その他（JSP0 及び日本栄養士会が認めた者）

### (2) 受講者数

80名程度とする。

## 7. 受講申込

受講希望者は、全て日本スポーツ栄養学会養成事務局を通じて受講申し込みを行うこと。

### (1) 申込方法

- ・受講申込は日本スポーツ栄養学会養成事務局を通じて行う。
- ・受講希望者は、JSP0、日本栄養士会、日本スポーツ栄養学会のいずれかのホームページより「受講の手引き」を入手すること。

- ・応募にあたり、6. 受講者の（1）受講条件をよく確認すること。
- ・受講希望者は、所定の受講希望者個人調査に必要事項を記入し、所定の必要な書類を添付のうえ、指定期日までに日本スポーツ栄養学会養成事務局に提出する。

(2) 受付期間：令和8年3月1日(日)～3月17日(火)

8. 受講料：41,800円（税込：受講内定時に納入）

<内訳> ・共通科目：22,000円（税込）

・専門科目：19,800円（税込）

\*受講料は共通科目の免除内容・免除審査料等によって異なる。

\*受講決定者は上記受講料を定められた期日までに納入する。

\*入金後の返金について受け付けないので注意すること。

\*専門科目の再試験の受験料は、別途徴収する。

口頭試験：一回当たり 16,500円（税込）

プレゼンテーション：一回当たり 33,000円（税込）

9. リファレンスブック：

共通科目講習会の教材。

\*受講申込時点で購入している必要があり、受講申込時に購入可能。

\*受講申込時に購入する場合は、以下の特別価格にて購入可能（その他のタイミングでの購入は通常価格）。

紙版 3,300円(税込)、電子版 2,640円(税込)

10. 受講有効期間：5年間

11. 受講者の内定から決定までの流れ

(1) 提出された受講希望調査を審査のうえ、日本栄養士会及びJSP0が受講者を決定する。

(2) 受講者は、各都道府県の有資格者数及び受講者数を考慮しつつ、調書内容から選考する。

(3) 全ての受講希望者へ審査結果を通知する。なお、受講決定者には併せて「受講決定通知」が送付される（令和8年5月中旬予定）。

(4) 受講決定者はJSP0が運営するMyJSP0（指導者マイページ）の登録・申込みを行い、受講料をJSP0に納める。

\*講習会受講時の本人確認に必要となるため、受講開始までにMyJSP0（指導者マイページ）への顔写真のアップロードを実施すること。

(5) 受講料（リファレンスブックを含む）の納入が確認された者に共通科目テキスト等を送付する。なお、受講料を納入しない場合には、本講習会の受講資格を取り消す場合がある。

(6) 受講決定者は、受講有効期限内（受講開始年度を含め5年間）に共通科目と専門科目の全てを修了しなければならない。なお、受講有効期限内にカリキュラムの全てを修了しない場合は、受講者としての権利をすべて喪失する。

12. 講習・試験の免除

既存資格及びJSP0免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部または全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。

13. 検定試験・審査

共通科目と専門科目に区分して実施する。

(1) 共通科目

事前学習・集合講習(対面またはWEB)・事後学習(課題レポート)による総合判定とし、JSP0において審査する。

## (2) 専門科目

専門科目は知識を問う口頭試験と、インターンシップでのスポーツ栄養マネジメントに則った栄養管理の発表（パワーポイントによるプレゼンテーション）による総合判定を行い、日本栄養士会が審査する。

- (3) 共通科目及び専門科目の検定合格者を「公認スポーツ栄養士養成講習会修了者」と認める。
- (4) 免除措置適用者における検定については、別に定める。

## 14. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格するなど、所定のカリキュラムをすべて修了し、公認スポーツ栄養士として必要な資質能力を修得した者を修了者（「新規登録」対象者）と認め、修了通知と登録案内を送付する。
- (2) 公認スポーツ指導者登録規程に基づき、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を公認スポーツ栄養士として認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。  
\*JSP0 関連規程等において違反行為と規定された行為があったとして JSP0 が認めた時は、登録の権利を失い認定されない場合がある。
- (3) 登録料は4年間で23,000～27,000円(税込)（基本登録料：【デジタル版】13,000円/【印刷送付版】17,000円+資格別登録料10,000円）とし、初回登録時のみ初期登録手数料3,300円(税込)が別途必要となる。
- (4) 資格の有効期間は4年間とし、4年毎に更新する。ただし、公認スポーツ栄養士以外に公認スポーツ指導者資格（スポーツリーダーは除く）が認定されている場合、初回の有効期間は、新規認定期日からすでに認定されている資格の有効期限までとする。
- (5) 有効期間満了に伴う「更新登録」にあたっては、有効期限の6か月前までに、JSP0 または JSP0 加盟団体等の定める更新研修を修了するなどの要件を満たさなければならない。
- (6) 日本栄養士会の特定分野認定制度の一環として認定が行われるため、その規定に則ること。  
「特定分野認定制度」：<http://www.dietitian.or.jp/about/concept/cultivation/>  
(日本栄養士会 HP)



## 15. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 受講者の個人情報は、以下の目的のために使用する。
  - ・本養成講習会の実施に関する連絡（資料の送付等）
  - ・受講状況の管理
  - ・その他公認スポーツ栄養士関係業務
- (2) 受講者の個人情報は、受講者の推薦団体に提供する。また、提供を受けた団体において必要な情報（受講状況等）を付加する場合がある。
  - ・提供先  
受講者を推薦した団体
  - ・提供の目的  
受講状況の管理のため
  - ・提供する項目  
取得した全項目
  - ・提供の手段  
MyJSP0 管理システム、書面、口頭、電話、FAX、電子メールなどによる提供
- (3) JSP0 個人情報保護方針は、以下の URL を確認すること。  
<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>

## 16. 注意事項

- (1) 受講有効期間内に所定のカリキュラムを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。
- (2) 本講習会の受講有効期間内に他の公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の JSP0 公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内または未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (3) 受講者としてふさわしくない行為（JSP0 関連規程等において違反行為と規定された行為）があったと認められたときは JSP0 指導者育成委員会または日本スポーツ栄養学会において審査し、受講資格の取消しないしは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合がある。なお、処分内容については、JSP0 公認スポーツ指導者の処分に関連する諸規程に照らし合わせるとともに、受講状況等に応じて検討する。また、JSP0 または日本スポーツ栄養学会が受講者としてふさわしくない行為に関する事実調査を開始して以降、処分内容が確定するまでの間、当該受講者からの「受講辞退」申請は受理しない。
- (4) 本講習会風景の写真等は、JSP0 または日本栄養士会のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (5) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 または日本栄養士会が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0 または日本栄養士会等ではその責任を負わない。
- (6) 手話通訳、要約筆記等の希望や受講にあたって支援や配慮が必要な場合は、受講申込時に実施団体まで申し出ること。申し出があった場合、個別の状況等に基づき、総合的・客観的に判断し、必要かつ合理的な対応を講じる。なお、もしも受講をキャンセルした場合で必要かつ合理的な対応のキャンセルに伴う費用が発生した場合は、当該受講者の負担とする。

#### 17. 問い合わせ先

<専門科目、講習会全般に関するお問い合わせ先>

特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会 養成事務局

TEL：080-3576-5152 / Email：[contact@jsna.org](mailto:contact@jsna.org)

<共通科目お問い合わせ先>

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部 スポーツ栄養士担当

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

Email：[coach@japan-sports.or.jp](mailto:coach@japan-sports.or.jp)

## スポーツと、望む未来へ。



## 「受講希望者個人調書」の記入について

手引きを熟読し、講習会の内容・流れを十分ご理解・ご了承の上、お申込みください。

### 【受講希望者個人調書記入に際しての留意事項】

- ① ワードのファイルを利用して作成する場合には、調書は予め2ページで作成されていますので、項目や項目ごとの設定（行間等）を変更しないでください。記載に際し、文字の大きさを9ポイント以上としてください。記入漏れ、設定が変更されている調書は、受け付けないこともありますので、ご注意ください。**手書きは認めません。印刷は片面印刷、A4サイズ2ページに収めること。**
- ② 共通科目免除申請については、免除概要及び受講料（「受講の手引き」7ページ参照）をご確認ください。なお、共通科目免除を申請される方は、必ず免除証明書類の写しを添付してください。また、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として既に登録されている方も、該当指導者資格の登録証（裏面）等の写しを添付してください。
- ③ 推薦書等の別添書類は受け付けません。調書に同封されていた場合には、受け付けた時点で破棄させていただきます。
- ④ 調書の署名欄は、**自署**でご記入ください。
- ⑤ 管理栄養士免許状・スポーツ栄養ベーシック講習会修了証（必須）の**写し**を同封してください。同封なき場合は未取得とみなします。
- ⑥ 必要事項の記入及び書類の準備（「受講の手引き」6ページ参照）ができましたら、**必ず日本郵便『レターパックプラス』を使用し（レターパックライトは使用不可）、下記送付先へお送りください。それ以外で提出された場合は受領不可とし破棄します。**
- ⑦ 送付いただいた調書等の各種書類につきましては、返還いたしませんので予めご了承ください。

### 【送付先】「NPO 法人日本スポーツ栄養学会 養成事務局」

〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1  
神奈川県立保健福祉大学栄養学科 鈴木志保子研究室（TEL：080-3576-5152）

### 【申込期間】令和8年3月1日（日）～3月17日（火）

※当日消印有効

※申込期間外の消印で到着した書類（免除書類含む）は一切受け付けません。書類は、開封せず破棄します。